

# 暮らしの瓦版

2010年07月号



## 地球にやさしい快適「エコ住宅」(4)

### 【緑のカーテンが温暖化防止になる】

緑のカーテンとは、アサガオやヘチマなどツルを巻きつけながら成長する植物を植えて、窓の外に作るカーテン状のものです。室内に取りつけるカーテンと違い、庭やベランダからの熱も遮る効果があるのが、そのメリットです。

日差しが強い夏場は、太陽の熱により、外壁やベランダの床・テラスなどが暖められます。物体は暖められると熱を蓄える「蓄熱」という特性があるため、日が落ちてからもなかなか冷めません。そして、夜になっても輻射熱として室内に侵入するため、なかなか涼しくならないのです。しかし、窓の外側に植物でカーテンをつくれれば、昼間の太陽熱を遮ることができ、その結果、外壁やベランダの床が暖まりにくくなり、部屋の温度上昇も抑制してくれま

す。また、涼しいのは日陰だからという理由だけではありません。植物には葉から水分が発散する【蒸散作用】があり、水分が水蒸気となる時にまわりの熱を奪い冷却効果が起こるため、さらに涼しさを与えてくれるのです。窓の外側に植物でカーテンをつくることで、室内の温度上昇が抑えられれば、ムダな冷房も抑えることができます。冷房をする機会が減れば、消費電力が減ってCO2の排出が削減でき、さらに室外機からの廃熱も減りますので、温暖化対策としてはとても有効だと言えるでしょう。

夏までにカーテンのようにするならば、植物のタネを撒く時期は、4月～5月が適しています。タネを撒く時期が過ぎてしまった場合でも、苗を購入すれば6月頃でも間に合うでしょう。代表的なものとしては、アサガオなど花をを楽しむもの、キュウリ・ゴーヤのように食べる楽しみがあるもの、ヘチマやひょうたんのように実を利用できるものがあります。ツル性植物であればどんなものでも構いませんが、常緑タイプは避けて下さい。また、葉の掃除や害虫の対処なども適宜行いましょう。

植物を利用することで、夏は日差しを遮り、冬は日差しを取り入れることができる「緑のカーテン」は、自然の力を改めて実感させてくれるのではないのでしょうか。できるだけ自然の力を取り入れながら、日照と遮熱・断熱と排熱・気密と通気バランスを取り、ムダなエネルギーを消費しない住宅計画をお勧めします。



## 季節の風物詩 「半夏生」



半夏生は雑節のひとつ。夏至（夏至から小暑までの期間）を3つに分けた最後の期間。毎年7月2日から5日間のころ。田植えの目安とされ、この頃までには田植えを終えるべきとされます。半夏生の前に無事田植えを終えた農家では、この日の天候で稲作の豊凶を占ったり、田の神を祭ったりします。またこの日に関西ではタコを、讃岐ではうどんを、福井県大野市などでは焼き鯖を食べる風習があります。

## 生活 メモ 「第二回参議院議員通常選挙」

2010年夏に行われる次期参議院選挙。政府・与党が6月16日までの国会会期を延長しない方針を固めたこと、参院選は6月24日公示、7月11日投票の日程で行われる公算が高くなりました。単独過半数を狙う民主党ですが、このころの支持率低下で混戦が予想されます。さて参議院、参議院選挙とはどのようなものなのでしょうか。憲法では、「国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関」と位置づけられています。その国会は、衆議院と参議院の2つの議院から成り立っていますが、衆議院は参議院に比べ、任期が短く、解散もあり得ます。それだけ強く国民の意思を反映していると考えられるので、衆議院にはいくつかわくち権が認められています(予算・条約の承認、内閣総理大臣の指名等)。一方、参議院は、衆議院の行き過ぎを抑え、議論を慎重にするためにあるのです。参議院選挙とは、都道府県を単位とする選挙区選出議員選挙と全国を1つの単位とした比例代表選出議員選挙の得票率に応じて議席を配分で行われています。参議院の定数は242名(比例代表96名、選挙区146名)、解散はなく任期満了6年、3年ごとに半数を改選します。そのため、今回の参議院選挙は2004年7月実施の第20回参議院議員通常選挙で選ばれた議員が改選対象となります。参議院議員の選挙には、各都道府県の区を単位として行われる選挙(選挙区選挙)と全国を単位として行われる選挙(比例代表選挙)とがあり、参議院の比例代表制度は、法改正により2001年の選挙から拘束名簿式(本人の得票数により当選人となるべき順位が決まる)に変更され、このことにより名前が知られた人の方が有利とされ、各党とも著名人頼みの傾向も出てきています。また2003年12月より不在者投票制度の改正が行われ、不在者投票手続きが簡素化(「期日前投票」)され、より選挙に参加しやすくなりました。



## 生活 メモ 「完全デジタル化」2010年7月24日、25日

地上デジタル放送とは、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送。2001年、国の政策として導入が決定されました。2003年より関東・近畿・中京の3大広域圏で、2006年12月7月24日までに移行完了し、現行のアナログテレビ放送を終了する計画となっています。地上デジタル放送を受信するためには、UHFアンテナと、地上デジタルテレビ放送対応のテレビまたは地上デジタルチューナーや地上デジタルチューナー内蔵録画機器を接続する必要があります(ケーブルテレビ等を通して受信する場合もあります)。



地上デジタル放送には次のようなメリットがあります。①高性能かつ各種サービスが可能・高画質・高音質、双方向サービスやワンセグ、データ放送による情報提供など、種々のサービスが可能となります。将来的には、番組をいつでも見られるサービスや型番も検討されています。このような機能を利用した行政サービスとして、地域密着型の情報提供や、テレビを通じて各種手続きの実現なども期待されています。②周波数の有効利用・現在、日本では電波事情が逼迫されています。地上放送のデジタル化完了後は周波数が効率化されるようになります。③情報の基盤強化・テレビはデジタル化により、家庭においてパソコンよりも身近で簡便な通信端末となり、高度な情報通信の基盤構築に必要不可欠になるでしょう。その他にもメリットは多くあり、デジタル放送は世界の潮流となっています。1998年にイギリス、アメリカで地上デジタル放送が始まり、その後、ヨーロッパではスウェーデン、スペイン、フィンランドなど大半の国で、アジアでは韓国、日本、台湾、中国などで放送が始まり、現在では世界の40以上の国と地域で放送されています。地上デジタル放送用電波塔となる予定の「東京スカイツリー」も順調に建設が進み、話題となっています。地デジ完全移行まであと1年。準備は進んでいますか？

【候補者擁立を表明している政党・政治団体】  
民主党、社会民主党、国民新党、自由民主党、公明党、日本共産党、新党改革、たちあがれ日本、みんなの党、新党日本他

### 知るべき「iPad 5/28日本発売」

iPadとは、米国・アップル社が開発した、電子書籍、ゲーム、動画、インターネット閲覧、メール、写真表示などが楽しめる多機能情報端末のこと。画面を指で触って操作するタブレット型で、比較的簡単に楽しめます。高精細の液晶を搭載しながら薄く、重量680グラムと軽量。通信モジュールを内蔵した、いわば高級・高性能のネットブックと考えてもよいでしょう。米国では1か月で販売100万台を突破、日本でも5月28日に発売され、大きな話題となっています。iPadのために作られた数千ものアプリケーションがあり、日々増加しています。ビジネスへの活用も検討され、利用価値も高まりそうです。これからの可能性は無限といっても過言ではないでしょう。

修繕 リフォームから新築工事の建物の事  
優良土地活用から物件探索の土地の事  
北本建設株式会社  
埼玉県北本市古市場 3-131 TEL: 048-591-1234  
URL: http://kitaken1970.com FAX: 048-591-0019

## 7月 暮らしのカレンダー

文月、女郎花月、建申月、親月、七夕月、桐月、七夜月、文披月、愛逢月、蘭月、涼月

1日	海開き／富士山開き	19日	海の日
2日	半夏生	20日	土用・夏土用
4日	アメリカ独立記念日	23日	大暑
7日	小暑／七夕	26日	土用の丑の日